

三井住友トラスト・グループの存在意義(パーパス)について

当グループでは、自らの存在意義(パーパス)を「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」と定義するとともに、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に掲げています。これは、創業以来変わらない当グループの「お客さま本位」という経営理念に基づいて、お客さまから最も信頼されるベストパートナーとして次世代に責任を持ち、変化への対応力を一段と高めた社会を築き上げていくことが私たちの使命と認識して、社会課題の解決に積極的に貢献することで私たち自身も持続的に成長する、という思いを込めたものです。

三井住友トラスト・グループの存在意義(パーパス)

私たちが
理想とする姿

**信託の力で、新たな価値を創造し、
お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる**

社会から
求められる姿

信託の力でパーパスを実現

能力転換機能

高い専門性を生かして資産を 運用・管理する

信託は、お客さまから託された大切な資産を、高い専門性を駆使して運用・管理し、お客さまに高い付加価値を提供します。



資産転換機能

資産の性質や数を柔軟に変化させる

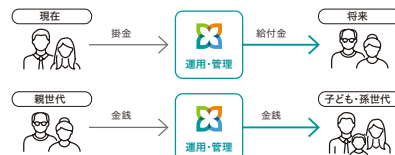
信託した資産が信託受益権に転換されることで、本来分割できない資産や金額の大きな財産でも小口に分けて流通させることが可能になり、円滑な資金・資産・資本の循環を促します。



時間転換機能

時を超えて「想い」を未来へつなぐ

信託には、豊かな未来を実現するために、長期間にわたって資産をお預かりする機能があります。ときには世代も超えて、資産とその資産に込めた想いをつなぎます。



パーパスにある「信託の力」とは、信託の多彩な機能や、高度な専門性・総合力、根本理念であるフィデューシャリー(受託者精神)など、広い概念を意味しています。当グループは、これまでも信託の機能を柔軟に発揮し、お客さまや社会の課題に対応してきました。気候変動問題や少子高齢化をはじめとする社会構造の変化は、ますます高度化・複雑化しています。当グループはこのような時流をビジネス機会と捉え、信託の力を駆使して、新たな価値(機会や市場)を創り出し、豊かな未来=サステナブルな社会の発展、一人一人の豊かさ・幸せ=Well-beingの向上につなげていきます。

COLUMN

パーパスの実践に向けて

三井住友信託銀行では、パーパスの説明資料を配布したほか、オンラインにて、社長から全社員約1万2,000人へ、中期経営計画やパーパスの背景について直接語り掛けました。役員や店部長は、パーパスと各事業・各現場のありたい姿を結び付けながら、パーパスを浸透させています。さらに各店舗では、担当業務が直接的・間接的に生み出すポジティブインパクトや社会的価値について、一緒に働く仲間とともに、認識、共有し、パーパスを起点とした日々の行動につなげています。このように、当グループのパーパスは、当グループと社会をつなげるのみならず、私たち一人一人と当グループや社会をつなげる架け橋となっています。社会の一員として価値を提供すること、役立つことにより、パーパスを実現していくことは、私たちの励み、誇り、やりがいとなります。時代が大きく変化するなかでも、信託の精神に基づき最善を尽くしてきたグループの原点であるパーパスの下、お客さまや社会の豊かな未来とともに、当グループや私たち一人一人も成長する好循環を実現していきます。

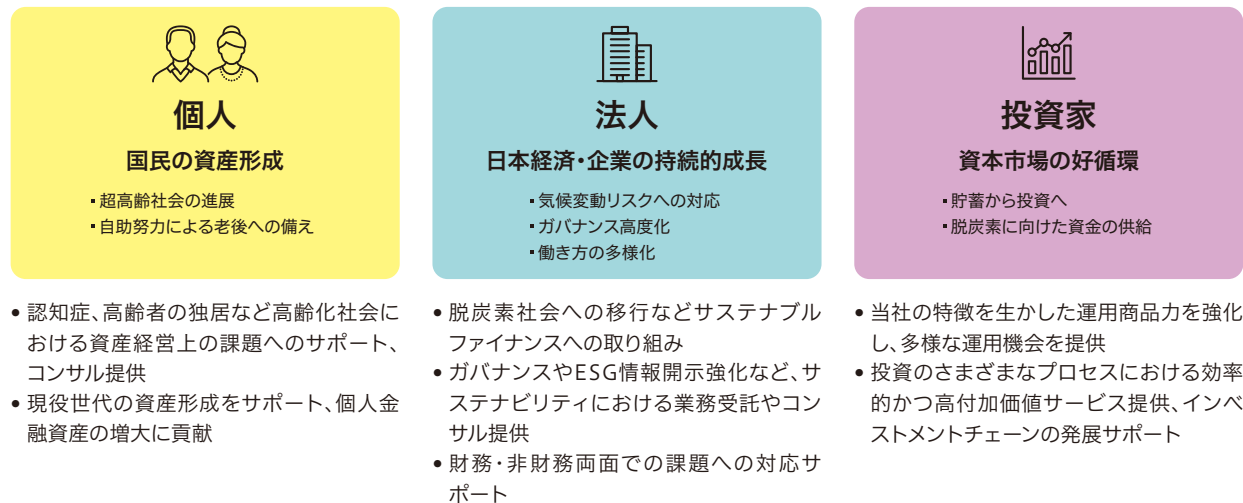
ビジネスを通じて創造する新たな価値

信託の力を活用した社会課題解決型ビジネス

ステークホルダー(三つの経済主体)に提供する価値

当グループは、「信託」の多彩な機能を活用し、「循環」をキーワードに、個人・法人・投資家それぞれに生じる社会課題に対して、付加価値の高い商品・サービスをお客さまに提供します。

—新たな価値創造を通じて取り組む社会課題—



新たな価値を創造する三つの戦略領域

2030年に実現したい社会や当社の姿を見据え、好循環を促進する三つの価値創造戦略領域として、①人生100年時代、②カーボンニュートラル、③地域エコシステム・グローバルインベストメントチェーン、を設定しました。

社会課題がますます高度化・複雑化するなか、当社固有の経営資源や顧客基盤だけでは長年の社会課題を解決するのは困難です。さまざまなステークホルダーとの連携やプラットフォームの構築を行い、新たな市場や機会を創出します。また、これらを実現するために、人的資本や設備資本を強化していきます。



花開かせる豊かな未来

関連性の高いSDGs



一人一人の豊かさ・幸せ=Well-beingの向上